

貸付申請書 (保育補助者雇上費貸付)

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会会長

申請者は社会福祉法人等です。  
したがって、代表者は理事長等となります。

申請者 法人の住所 〒880 - 8515

宮崎県宮崎市原町 2 番 2 2 号

法人の名称 社会福祉法人

施設の名称 幼保連携型認定こども園 宮崎こども園

代表者の職名及び氏名 理事長 保育 太郎

公印

連帯保証人

住所 〒880 -

宮崎県宮崎市原町 番号

氏名 宮崎 花子

印

携帯電話等 090

年齢 50 歳 申請者との関係 園長

勤務先 幼保連携型認定こども園 宮崎こども園

連帯保証人は、申請者が借り受けた貸付資金について、連帯してその債務を負担していただきます。

連帯保証人の条件としては、独立の生計を営む成年者です。

保育  
施設  
規則

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会保育士修学資金等貸付実

フリガナ 法人の名称	シャカイフクシヨウジン 社会福祉法人
施設の名称 代表者の職名及び 氏名	幼保連携型認定こども園 宮崎こども園 理事長 保育 太郎
法人の所在地	〒880 - 宮崎県宮崎市原町 2 番 2 2 号 電話番号等 (0985) - 連絡の取れる電話番号を記入すること
貸付対象事業等 (番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育所 (公立を除く)</li> <li>2 幼保連携型認定こども園 (公立を除く)</li> <li>3 小規模保育事業</li> <li>4 事業所内保育事業</li> <li>5 企業主導型保育事業</li> </ol> <p>雇上げる保育補助者は、保育所等における保育士配置基準に係る特例 (平成 28 年 3 月 18 日付け厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知) を適用して、「保育士としてみなす」ことはできません。</p> <p>3、4 で地域型保育給付費又は特例地域型保育給付費の算定対象となる者を雇上げる場合は貸付対象になりません。</p> <p>5 で企業主導型保育事業費補助金の算定対象となる者を雇上げる場合は貸付対象になりません。</p>

貸付希望金額	年額	2,953,000	円(上限は年額2,953,000円)
	総額	8,859,000	円(貸付期間は年額2,953,000円以内です。)
貸付希望期間	(元号) 年 月から(元号) 年 月分まで		
貸付希望期間は、保育補助者が勤務する期間です。	フリガナ	サドウラ ミヤコ	
	氏名	佐土原 宮子	
	生年月日	昭和・平成 5年 5月 5日 (26歳)	
	週あたりの勤務時間数	週( 30 )時間	
	雇用する保育補助者注1	<p>保育補助者の要件(いずれかの番号に○)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育所又は認定こども園等で保育業務に従事経験有(1,440時間以上従事)</li> <li>2 家庭的保育者の研修を受けた者</li> <li>3 子育て支援員研修修了者</li> <li>4 勤務開始後に子育て支援員研修を受講予定者</li> <li>5 保育に関する40時間以上の実習を受けた者</li> <li>6 勤務開始後に保育に関する40時間以上の実習予定者</li> </ol> <p>1は在職証明を、2及び3は研修修了証書の写しを、5は保育補助者実習等修了証明書の写しをそれぞれ添付すること。</p> <p>・上記の者は、現在保育士資格を持っておらず、保育士の業務負担軽減のため、(元号) 年 月 日から当施設において、保育補助業務に従事します。</p> <p>・上記の者は下記のとおり、本貸付を受ける期間中に保育士資格を取得する予定です。</p> <p>・当施設は、他から本貸付と同種の貸付を受けていません。</p>	
保育士資格取得の予定(番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育士試験受験予定((元号) 年 月)</li> <li>2 指定保育士養成施設(在学中・入学予定((元号) 年 月))</li> </ol>		
保育補助者の配置による、保育士の処遇改善及び勤務環境改善計画			
<p>具体的に記入してください。(保育補助者を雇上げることにより、保育士の負担が軽減されているかを具体的に確認するために記入していただくものです。参考までに例示します。)</p> <p>保育補助者が担当する業務(保育補助者が保育士の負担軽減のために取り組む業務を具体的に記入。)</p> <p>園児の登園時、降園時の受入れ、送出しの支援</p> <p>保護者からの連絡内容等の確認等</p> <p>保育活動の補助</p> <p>衣服の着脱や給食事の世話、介添え等</p> <p>園外保育時の安全確保</p> <p>昼寝時の見回り等安全確認</p> <p>園児の排泄行為の手助け</p> <p>その他保育士の業務の補助</p> <p>これらの業務について、保育士の補助に取り組むことにより、保育士の負担軽減が図られている。</p>			

注1 保育補助者の雇上げを行う場合記入してください。既に保育補助者を雇用している場合は要件該当申請書（様式4号）に記入してください。

2 貸付の条件として保育補助者は、週30時間以上の勤務を要します。

3 添付資料

(1) 誓約書（様式第2-2号）

(

(2) 保育補助者の住民票（マイナンバーの記載のないもの）

(3) 連帯保証人の所得証明書

最新のものです。

(4) 保育補助者の要件を証する書類

・保育業務に従事経験がある者～在職証明書（1,440時間以上従事）

・家庭的保育者の研修を受けた者～研修修了証書の写し

・子育て支援員研修修了者～研修修了証書の写し

・保育に関する40時間以上の実習を受けた者～保育補助者実習等修了証明書の写し

(5) 労働条件通知書等、労働条件が確認できる書類

(6) 個人情報取扱同意書（様式第10号）(7) その他会長が必要と認める書類

4 その他

上記1の(7)については必要がある場合、個別に対応します。